

平成 23 年夏期の富士山登山者数について（お知らせ）

平成 23 年 9 月 16 日（金）
環境省関東地方環境事務所

箱根自然環境事務所

所長：家入 勝次 Tel：0460-84-6920

沼津自然保護官：柳川 智巳 Tel：0559-31-3261

富士五湖自然保護官：岡島 一徳 Tel：0555-72-0353

環境省では、富士山の登山者数を把握するため、平成 17 年から各登山道の 8 合目付近に赤外線カウンターを設置して登山者数調査を実施しています。今般、平成 23 年の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

富士山 8 合目における平成 23 年 7 月 1 日から 8 月 31 日までの登山者カウント数の合計は約 29.3 万人で、昨年度に比べて約 2.8 万人減少しました。

1. 調査の背景

富士箱根伊豆国立公園の重要な構成要素である富士山の登山者数については、平成 16 年までは登山口の車両数や吉田口登山道 6 合目での通過者数調査等から推計しており、富士山山頂部への登山者数を把握するまでには至っていませんでした。

このため環境省では、平成 17 年から富士山山頂部へのより正確な登山者数を把握し、国立公園の適正な利用の推進に資するため、4 つの登山道（吉田ルート、須走ルート、御殿場ルート及び富士宮ルート）のそれぞれ 8 合目付近に赤外線カウンターを設置することにより、登山者数調査を実施しています。

2. 今年の集計結果

今年の結果は以下のとおりです。なお、カウンターが濃い霧に対して誤作動を起こしている場合があることが確認されているため、平成 19 年以降の登山者カウント数については補正を行っています。（「3.（4）カウンターの数値と補正」を参照）

① 富士山の登山者数の推移

今年の富士山 8 合目における全登山者数は、約 29.3 万人で、昨年と比較して約 2.8 万人減少しました（昨年 の 91%）。平成 20 年に 30 万人を超えて以来、増減はあるものの約 30 万人前後で推移しています。

表 1：富士山の登山者数の推移

	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年
全登山者数 (人)	200,292	221,010	231,542	305,350	292,058	320,975	293,416

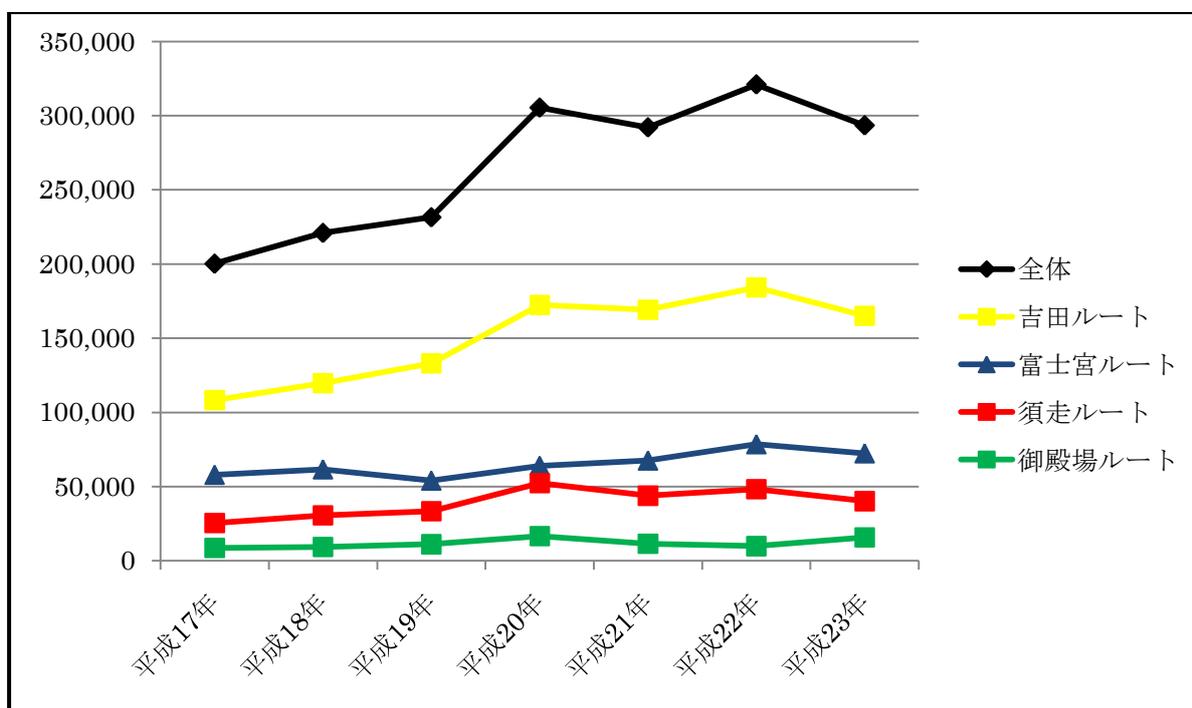
② 登山道別の割合及び平成17年からの推移

各登山道別の登山者数及び全体登山者数における各登山道別の登山者数の割合は、以下のとおりです。昨年と比較すると今年は、御殿場ルート以外のすべての登山道で登山者は減少しました。

表2：各登山道別の平成17年からの登山者数の推移（括弧内は各年における割合）

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
吉田ルート	108,247 (54%)	119,631 (54%)	132,980 (57%)	172,369 (56%)	169,217 (58%)	184,320 (57%)	165,038 (56%)
富士宮ルート	57,962 (29%)	61,611 (28%)	54,011 (23%)	64,034 (21%)	67,590 (23%)	78,614 (24%)	72,441 (25%)
須走ルート	25,416 (13%)	30,536 (14%)	33,394 (14%)	52,323 (17%)	43,861 (15%)	48,196 (15%)	40,179 (14%)
御殿場ルート	8,667 (4%)	9,232 (4%)	11,157 (5%)	16,624 (5%)	11,390 (4%)	9,845 (3%)	15,758 (5%)

図1：平成17年からの富士山の登山者数及び登山道別の登山者数の推移



③ 日別の割合及び平成17年からの推移

登山者は、土日及び8月のお盆の時期に集中するほか、シーズンを通しては、気温の低い7月上旬までは比較的少なく、7月中旬から8月末までの時期に多くなる傾向がありました。

図 2 : 各登山道における日別登山者数

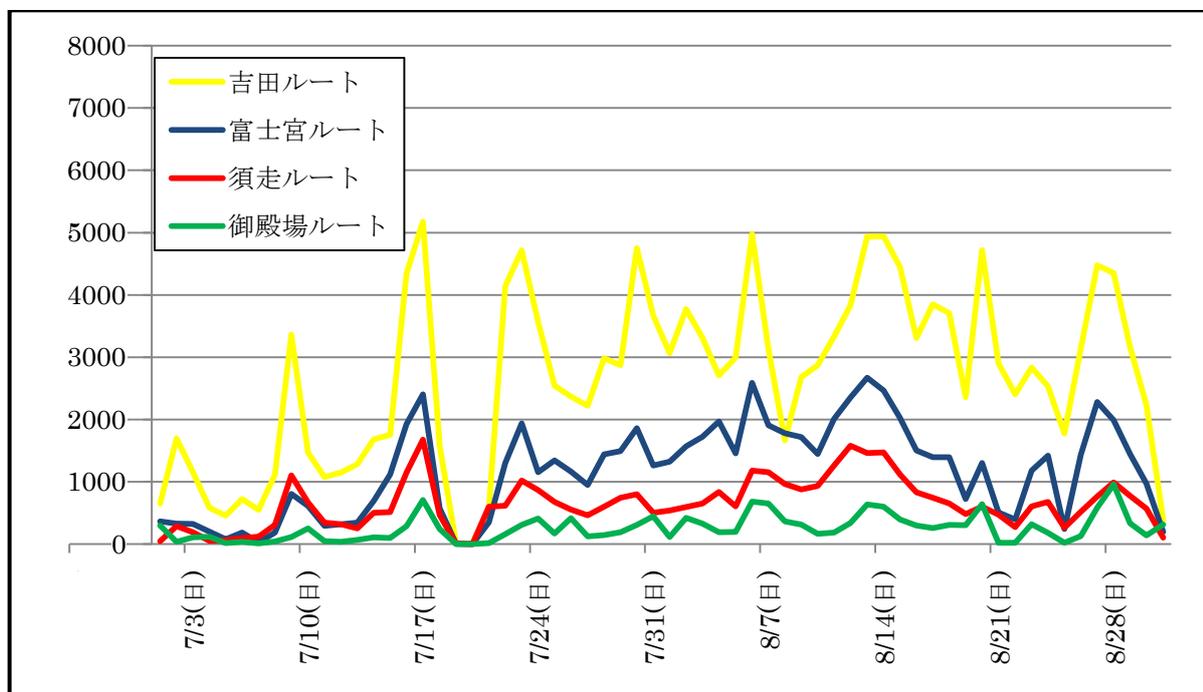
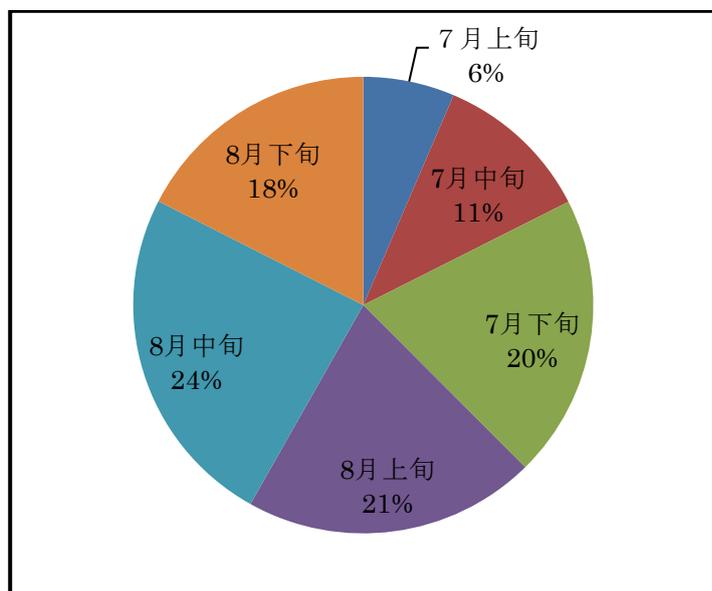


表 3 : 旬別登山者数（4 登山道合計）と富士山頂の平均気温

		登山者数	平均気温日平均	平均気温日最高	平均気温日最低	平均気温(平年値)	最高気温(平年値)	最低気温(平年値)
7月	上旬	18,851	6.4	10.0	3.3	3.9	6.4	1.4
	中旬	32,566	8.1	11.6	5.1	4.8	7.3	2.4
	下旬	58,807	6.1	9.1	3.3	5.8	8.6	3.3
8月	上旬	60,432	7.5	11.7	4.8	6.4	9.6	3.8
	中旬	71,466	7.1	10.5	4.7	6.4	9.6	3.9
	下旬	51,294	5.9	8.6	3.7	5.7	8.9	3.2

※気温は気象庁のデータを引用

図 3 : 旬別登山者数の割合



4 登山道合計の登山者数が最大だった日は、7月17日(日)で9,961名でした。昨年の1日あたりの最大登山者数は7月31日(土)の約1.3万人で、1万人/日以上が合計6日間ありましたが、今年においては1万人/日以上の利用はありませんでした。

表 4 : 1日あたりの登山者数が多かった日 (上位5日)

日付	4登山道合計登山者数
7月17日(日)	9,961
8月13日(土)	9,705
8月14日(日)	9,484
8月6日(土)	9,433
8月28日(日)	8,291

表 5 : 登山道別の最大カウント数

登山道	日付	最大カウント数
吉田ルート	7月17日(日)	5,175
富士宮ルート	8月13日(土)	2,672
須走ルート	7月17日(日)	1,675
御殿場ルート	8月28日(日)	961

(参考) 各ルートにおけるマイカー規制日時

- 吉田ルート（富士スバルライン）
7月16日（土）0時～18日（月）24時
8月5日（金）0時～16日（金）24時
- 富士宮ルート（富士山スカイライン）及び須走ルート（ふじあざみライン）
7月15日（金）17時～18日（月）17時
7月22日から8月28日までの（金）17時～（日）17時
- 御殿場ルート マイカー規制なし

④時間別登山者数の推移

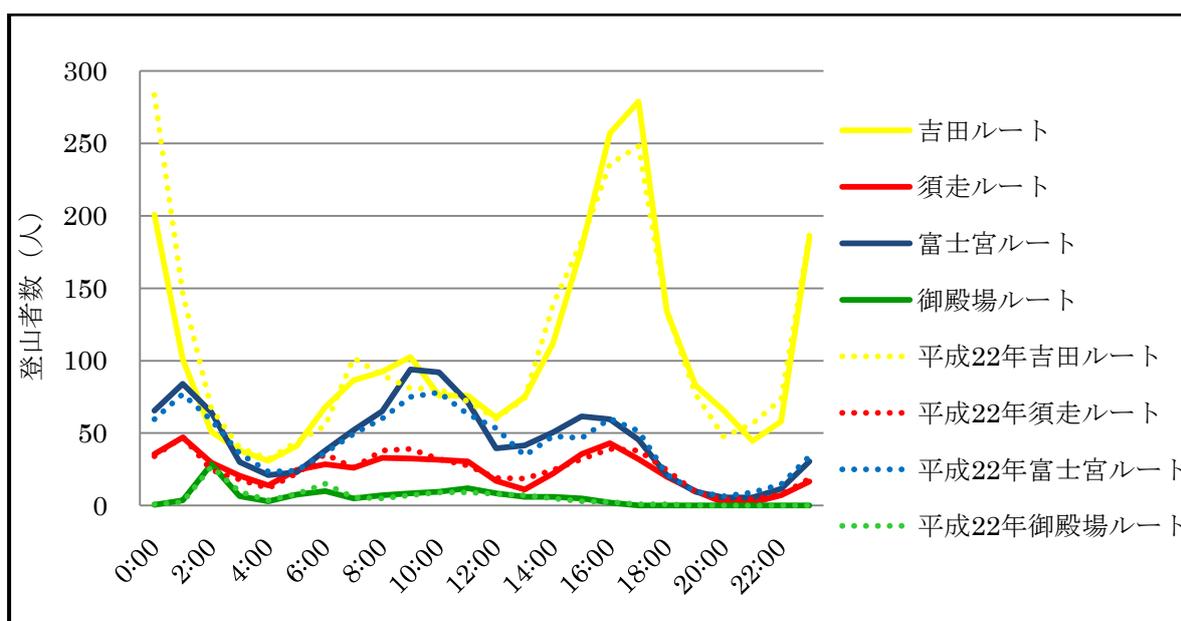
吉田ルートでは、時間によって登山者数の変動が激しく、16時から17時までの夕方^(※1)と23時から25時までの深夜^(※2)に2つの登山者数のピークが認められました。

富士宮ルート及び須走ルートでは、日中に8合目を通過する登山者が多いものの、夜間登山者も多くみられました。御殿場ルートにおいても、夜間登山者が見られます。

(※1：この時間帯のピークは、主に山小屋で宿泊する登山者によるものと推定されます。)

(※2：この時間帯のピークは、主に山頂で御来光を見る予定の登山者によるものと推定されます。)

図4：平成22年以降の時間別登山者数



3. 調査方法概要

(1) カウンター設置位置

全ての登山口からの利用者を把握するため、山小屋の協力を得てカウンターを4登山道のそれぞれ8合目付近に設置しました。協力頂いた山小屋は以下のとおりです。
吉田ルート：太子館、須走ルート：見晴館、御殿場ルート：赤岩八合館、富士宮ルート：池田館

(2) 計測機器について

設置したカウンターは、赤外線反射を利用してセンサーにより通過人数をカウントする仕組みです。日時、方向（上り下りを識別）が記録され、日ごとの登山者数等を把握することができます。

(3) データの欠測について

豪雨の発生や台風の接近時には、カウンターを一時的に山小屋に撤去しているため、データが一部欠測している場合があります。

欠測期間は以下のとおりです。

	欠測期間	理由
吉田ルート	7月10日16:06～7月10日17:57 8月7日14:43～8月7日19:21 8月8日14:11～8月8日19:38 8月19日16:24～8月19日19:24 8月25日10:25～8月25日15:30 8月27日00:00～8月27日03:51	雷のため
富士宮ルート	7月19日06:25～7月21日08:43	台風6号接近のため
須走ルート	7月19日08:30～7月21日06:30	台風6号接近のため

(4) カウンターの数値と補正

カウンターが濃い霧に反応していることが確認されているため、実測データはカウンターの誤作動の結果を含む可能性があることから、各登山道の実測データに対して1秒以内に連続カウントしている部分は、霧による誤作動とみなし排除するという補正を行いました。

(お願い)

富士山は標高3,776mの日本で最も高い山です。気候の変化が激しく夏でも氷点下になるなど気象条件は厳しいですが、軽装で登山をする方が多く見受けられます。富士山を登山される方は、現地の情報を十分に収集し、万全な装備で安全に留意して登山するようにお願いいたします。